

要配慮者の支援を考える講演会の開催について

1 目的

地域の方に、災害発生時における要配慮者への支援の重要性について、理解を深めてもらうとともに、日頃から地域で支え合う環境作りについて啓発を図ることを目的とする。

2 講師

むらの じゅんこ
村野 淳子 氏



【プロフィール】

- 大分県別府市防災局防災危機管理課防災推進専門員、中央防災会議防災対策実行委員会委員
- 平成15年の宮城県北部連続地震災害での支援活動きっかけに、全国各地での支援活動を始める。
- 平成29年からは、個別支援計画のモデル作りに着手、以降「福祉と防災の連携」や「災害時ケアプラン」について、地域と専門家が連携した支援体制の構築に取り組む。
- 令和3年5月の災害対策基本法の一部改正により市町村の努力義務となった個別避難計画の作成に向けた地域の支援体制や仕組み作りに尽力されている。

3 講演内容

〈題目〉

「地域とともに多様な団体・組織と進めるインクルーシブ防災
“誰ひとり取り残さない防災”」

別府市で取り組んでいる事例紹介を通じて、要配慮者に対する地域での支援体制の構築やみんなで支え合う環境作りの重要性について講演していただく。

また、大田区で取り組んでいる要配慮者への支援体制の充実や要配慮者支援組織の結成促進等につながる講演とする。

4 配信方法

- (1) YouTube「大田区チャンネル」に公開する。(1月31日～3月31日)
- (2) インターネットへのアクセスが困難な方のために、区立図書館、防災危機管理課でDVDの貸し出しを行う。

5 周知方法

区報(2月1日号)、統合ポスター(2月号)、ホームページ、ツイッター、防災アプリ、LINEで広報する。